

マリンオープンイノベーション(MaOI)

プロジェクト関連研究

(予算区分 行政費 研究期間 2019 年度～)

担当：水産・海洋技術研究所 開発加工科 望月万美子

【研究の背景とねらい】

- ・ マリンバイオ産業振興ビジョン(2019 年 2 月)の提言に基づき、静岡県が有する「場の力」としての「海洋バイオ」を活かした新たな産業の創出を図ることが、県の政策課題となっています。
- ・ 本県の魅力ある海洋資源を活用して、マリンバイオテクノロジーを核とした研究開発を推進することで、その成果を早期に産業応用することにつなげます。
- ・ 現在、MaOI プロジェクトとして公募により提案された様々な課題について、提案機関と共同で取り組んでいます。



MaOI プロジェクトの概要図

【取り組んでいる研究課題】

- 1 静岡県の水産物・水産加工食品の網羅的機能評価と有効機能の探求システムの開発
食品の正確な評価、前未病の予防・回復への評価を技術基盤として、これまでほとんど健康機能がわかっていなかった水産物や水産加工食品について体系的な評価を行います。この成果を用いて、水産物や水産加工食品の健康機能マップを作成することを目指します。
(研究機関：東京科学大学、工業技術研究所、開発加工科、研究期間：2024～)

【終了研究課題・これまでに得られた成果】

- 1 静岡県産魚類由来成分による失明疾患の制御に関する研究
網膜疾患について、近年、低酸素誘導因子（HIF）が病態生理に関与することが明らかになりましたが、既存 HIF 阻害剤の多くは抗がん剤であることから適応が困難です。そこで安全性の高い新規 HIF 阻害剤として静岡県産魚類の持つ HIF 阻害作用のスクリーニングと有効成分の探索、動物実験による有効成分の疾患抑制効果検証を行うことで、製剤化を含めた魚類の産業利用を目指します。
(研究機関：慶應義塾大学、静岡大学、開発加工科、研究期間：2019～2024)

(作成 2025 年 4 月)